令和２年度　第１回図書館協議会会議録

１　**開催日時**　令和２年８月４日（火曜日）　午後２時～午後４時30分

２　**開催場所**　相良庁舎３階会議室１・２

３　**出 席 者**

牧之原市図書館協議会委員

１名欠席	石間　郁代
	杉本　公恵
	鈴木　善彦
	中川　松枝
	早川　和幸
	水嶋　みゆき
	八木　とも

事務局

教育長	橋本　勝
教育文化部長	内山　卓也
社会教育課長	八木　康仁
社会教育課社会教育係長	永野　敦嗣
牧之原市立図書館長	杉村　明彦
社会教育課社会教育係主任	水野　秀信
社会教育課社会教育係主事	森川　崇之

４　**傍 聴 者**　５人

５　**議　　題**

①ミルキーウェイスクエアにおける図書交流施設の整備について
②新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
③図書館整備スケジュールについて

６　内　　容（要点記録）

（１）開会

（２）議題

①ミルキーウェイスクエアにおける図書交流施設の整備について

（会長）
図書館基本計画がいよいよ具現化するという非常に重要な時期を迎えようとしています。自由闊達に意見をお願いします。
本日は３つの議題を中心に協議を行います。特に、１つ目と３つ目の議題を重点的に、議論していきたいと思います。

〈事務局説明〉

（会長）
事務局の説明を踏まえ、図書交流施設の整備について話をしていこうと思います。はじめに、内覧会に参加した際の感想からお願いします。
（委員）
ドアの向こうの工事区画を見学してみましたが、現相良図書館の広さと比べると、とても広く驚きました。真ん中のスペースも本を読みながらお茶をするなど、今までの図書館とは全く違うものだと感じました。お披露目会に来ていた、子どもをつれた家族がいきいきしていて、とても楽しそうだと感じました。
（会長）
みなさん、異口同音に広いという感想を持ったのではないでしょうか。
（委員）
施設全体はきれいでした。図書館部分も楽しみに思います。イベントブースは広いと思いました。式典の際には周囲がざわざわしていて、市長のお話が聞きとりにくいことがあったので、今後講座などをする際には方法を考えなければいけないと思いました。
（会長）
今後の利用について貴重なご指摘がありました。他に感想はありますか。
（委員）
ミルキーウェイスクエア全体の感想として、お金は無くても心の広さを感じました。

（会長）
事務局の説明を基に、図書館基本計画に基づいた図書交流施設の整備がどのように具現化するか、自由に意見をお願いします。
（委員）
市に対して疑問に思ったのが、交流施設ということですが、「相良図書館」と呼ぶことはいけないことなのか。また、図面や文章に現れないような部分も、図書館基本計画に近づけていけたら良いと思います。
（会長）
改めて、交流を重視する複合施設として捉えるべきなのか確認をしたいです。
（事務局）
新聞にも掲載されているとおり、民間の複合施設で間違いありません。民間部分の様々なアイデアを用いての集客や、図書施設での集客を持ち合わせて、地域に多くの人々に来てもらうことが目的です。図書施設部分では基本計画に則り、魅力を十分に発揮することで民間部分にも恩恵があるような場所にしていきたいと思っています。
（会長）
「交流館」ということで、交流に重点を置いているようですが、交流というのは図書館基本計画の三本柱の中に「であいを創る交流・憩いの場」という考え方にも合致します。しかし、交流や賑わいを作るための図書館ではなく、良い図書館を作り、その結果として賑わいが生まれれば良い、という協議会での考えを確認したいと思います。他にご意見はいかかですか。
（委員）
図書施設について、どの程度のことまで議論すればよいかまとまらないです。
（会長）
これだけの資料で図書館像を具体化するということは難しいかもしれません。
（会長）
名前が今回をもって「図書交流館」に変わることは、違和感があり、委員の皆さまも戸惑いを感じていると思います。図書館協議会として図書館を協議して良いのか、それともこれを機に図書交流施設として議論していくのか。今までの議論との整合性の問題にもなると思うのですが、どうですか。
（事務局）
来年度出来上がるのは、図書館法に基づいた図書館です。図書交流館というのは名称です。図書館の拡張に伴い、補助金の活用を施設全体として申請した経緯があります。相良図書館の拡張から始まったことですが、今まで呼んでいた相良図書館と呼ぶのではなく、確定ではありませんが「牧之原市図書交流館」という名称になります。愛称の募集も今後行いたいと思います。

（会長）
今、協議会で議論しているのは「図書館」であり、行政的な立場から名称は「図書交流館」ということのようです。今までの図書館に関する議論が無駄になってしまったわけではないということでよろしいでしょうか。
（事務局）
その通りです。
（会長）
図書館は教育基本法や社会教育法、生涯学習の関連法に明記されています。教育委員会の所管という立場で、図書館協議会として委ねられている議論は図書館について議論していると本質的に理解してきました。今の説明でその裏付けができたと思います。今までと大きく変わるわけではないということで良いと思います。
（委員）
相良図書館や榛原図書館、移動図書館のこともありますので、今まで通りの考え方で良いと思います。
（会長）
名称の問題としては、相良・榛原と分けるのではなく親しみやすい呼称があると良いと以前にも議論したことがありますが、牧之原市の立場として今後どのような計画がありますか。
（事務局）
名称については、市の図書館条例の中で規定されます。愛称については、10 月くらいから公募を行おうと考えています。
（会長）
議題について、たくさんのご意見をいただきました。根本的には図書館基本計画に基づいて、図書交流施設の充実を計っていくということで良かったと思います。
学校の生徒たちも活用できるような図書施設にしたい、と以前意見を伺いましたが、学校の先生として意見や感想はありますか。
（委員）
お披露目会に行き、楽しい気持ちになるところだと感じました。出会った人と話をしながら楽しむことが、子どもたちにとって地域を大事にするうえで大切なことだと思います。図書の部分は壁の向こうでイメージが湧きませんでしたが、学習スペースという静かな場所も作ってくれるということで、楽しみです。
（会長）
課題学習などでも利用できると良いと思います。
（委員）

「図書交流館」という名前になっていくようですが、協議会で２年間協議させていただいた市民の１人として、２度に亘り民間施設活用に急展開し、民を大事にしているのかともやもやしました。
（会長）
「図書交流館」ができた際に、そのもやもやが晴れていることを願います。皆で力を合わせたいと思います。

②新型コロナウイルス感染拡大防止対応について

〈事務局説明〉

（会長）
コロナ対応ということで図書館がどのような対応をしているのかを説明していただきました。せっかくですので、新しくできる図書施設を想定しながら、コロナのような感染症や災害、犯罪といったことから利用者を守ることは大切な図書館運営の課題だと思います。このことについてご意見をお願いします。
（委員）
コロナの禍中で、暇ができ、本を借りに来る人数は増えましたか。
（事務局）
来館者数は若干落ちましたが、貸出数はあまり減ってはいません。本が大好きなヘビーユーザーの方々は変わらずに来ていただいているので、大きな落ち込みはありませんでした。
（委員）
ミルキーウェイの一帯は、過去に近くの川が氾濫し、田んぼが水浸しになったような記憶があります。
（会長）
地元の方ならではの声でした。ちなみに海抜はどのくらいですか。
（事務局）
海抜の資料は今持ち合わせていませんが、津波の浸水区域からは外れています。
（会長）
津波も気になりますが、洪水も最近多いので対応を考えておいていただきたいと思います。図書施設は建物全体の右のほうに寄せられていますが、避難経路はどのように作る予定ですか。学習室の奥の方を利用する人も、あくまで入口から逃がすのか、それとも他に扉などを作るのかを教えてください。
（事務局）

まだ避難計画というものをオーナーと協議をしているところです。館内には小さい入口を含めて出入口が３ヶ所ありますので、３ヶ所を利用して避難することができます。建物から出た後は安全な場所に誘導することなど、マニュアルを今後作成していく予定です。
（委員）
入口付近に図書館のカウンターがあります。公共施設であるので、図書館以外の目的で来た人に起こるトラブルに忙殺されそうですが、どのようになりましたか。
（会長）
図書館職員がその他の業務に忙殺され、本来の業務に専念できないと困るという話がありましたね。
（委員）
その時に入口から受付までの間に植木などを置いて、入ってきた人がカウンターを総合受付だと勘違いしないような工夫をしてくださるとお聞きしましたが、どうなりましたか。
（事務局）
図書館は資料の貸し借りだけでなく、相談やレファレンスサービス、図書館カードの利用登録をするなどお時間をいただくサービスがあり、大勢の方を一度に対応ができません。また、図書館以外の問い合わせが窓口に来てしまう懸念もありました。解決策として、間に植木を置かせてもらうことをオーナーに相談し、許可をいただきました。さらに、レンタルバイクのコーナーに総合の受付があるので、無関係の来場者が図書館のカウンターに来てしまうことを減らしていく予定です。
（会長）
図書館は個人情報を多く扱う場所なので、配慮していただきたいということは以前の議論でもありました。
今後、災害や避難等も含めた新しい図書館の建設に向けて留意をお願いしたいです。

③図書館整備スケジュールについて

〈事務局説明〉

（会長）
あと８か月で開館ということで、もうここまで来たのだなと実感しました。図

書館作りのためにものすごく多くの作業があることが、この資料からもわかると思います。図書館基本計画を振り返ってもらいながら、スケジュールに対する質問や、忘れないでほしいことの確認など、ご意見はありますか。
（委員）
市民からの本の寄贈はいつ、市民の皆さんに呼びかけを行うのかを教えていただきたい。
（事務局）
昨年度もお話ししたように、寄贈の資料の受入を図書館としても積極的に行っていきたいと思っています。時期は 12 月くらいからの受入を考えていました。お披露目会をはじめ、新しい図書施設の情報が広まりはじめ、最近図書の寄贈の申込みが増えてきています。冊数が多い場合は自宅に伺い、窓口でも受け付けています。ありがたいのですが、装備等の作業が追い付いていません。資料の受入基準もまだ明文化できていません。資料の寄贈の収集方針は秋頃を目処に完成させ、広報等でお知らせしながら 12 月には資料が入ってくるようにしたいと思っています。
（会長）
私にも図書の寄贈という声が寄せられるようになってきました。方針が決まっていないので、個人的には動けないでいました。秋頃の募集ということでよろしいですか。
（事務局）
その通りです。よろしくお願いします。
（会長）
他にご意見がある方はいらっしゃいますか。
（委員）
図書館協議会でユニバーサルデザインについて、を一番前に持ってきていましたが、模型やパース図を見ても具体的にはわかりかねます。いつごろ図書館基本計画に基づいたポイントがおさえられるかわかりますか。
（事務局）
ユニバーサルデザインにつきましては、建築の基準と照らし合わせて進めています。業者側とも協議し、今回の設計に取り入れています。サービス面では、福祉大学と提携し、福祉資料を借りやすいようにしようと考えています。
（会長）
この話は計画の中の自主事業の中に含まれていると考えてよろしいですか。
（事務局）
その通りです。通年で進めていくものであり、今年度だけでなく、この先も続いていく事業だと考えています。

（会長）
他にはいかがでしょうか。
（委員）
図書館基本計画をすべて落とし込んでもらえているのかわからず心配です。
専任の司書もいなければレファレンスができないなどの問題があります。10 本の柱、などでもよいので、表を作成して実施が確認できるようにしてほしいです。これを実現するためにこの工事をするというようにしてほしいです。
これまでのように図書館への夢を熱く議論するような協議会でなくなるのは残念なことです。
（会長）
今年度の図書館協議会の開催の２回というのは当面の開催ですか。それ以後も開催はありますか。
（事務局）
近々、２回の開催を予定しています。今後も開催したいと考えています。
皆様の任期が 12 月２日までとなっています。今後の改選も含めて考えていかなければいけません。
（会長）
基本計画の具現化という意味で、第５章の内容をあいまいにせず、前向きに断定的に実現する、と決意を盛り込みました。ぜひ、尊重してください。この具体的な各項目についてソフト面のスケジュールと整合がとれるのか、事務局でどのように考えているのか説明をお願いします。
（事務局）
基本計画の中では、５年間の計画ということで 2023 年までの計画になっています。進捗については毎年度、市教育委員会と図書館協議会の皆様に評価をしていただきます。足りないことについては、年度内で実現していきたいと考えています。今年度どこまで行うことができるのか、ハード面の大部分はできると思います。ソフト面も可能なことは実施していこうと思いますが、初年度であり、すべてができるとは限りませんので、順次行っていきたいと考えています。
協議会の皆様の意見を聞いて、改善していきたいと思っております。５年間の計画ではありますが、なるべく前倒しで実現できればと考えていますので、ご理解をいただきたいと思います
（会長）
大変前向きなご意見で総括していただきました。ぜひ、お願いいたします。
（委員）
基本計画の 20 ページのボランティア活動スペースがどうなったのか教えていただきたいです。

（事務局）
ボランティア活動スペースは、協議会でも議論をしていただきました。平面図をご覧ください。読み聞かせエリアでは読み聞かせの実演をしていただくことを考えています。また、その準備は事務室の左にある作業室で行っていただけます。大型紙芝居は、現相良図書館に置き、書庫兼ボランティアスペースとして開放することを予定しています。活動場所は、榛原図書館や交流館のほうで行ってもらいます。本の移動が大変ですが、それは基本計画の 21 ページにあるメールカーの運行で対応します。図書館システムの導入により、資料の予約がしやすくなります。榛原、交流館どちらでも受け取れるようにするので、大型紙芝居も交流館で受け取れるようにしたいと考えております。
（委員）
これから、事務的な話が多くなっていくと思いますが、夢のある話し合いをしていきたいです。基本計画の 16 ページにある「発見・驚きのある講座やイベントの開催」、「市民を支えるレファレンスサービスの充実」と具体的な項目がありますが、そのようなことができても、私と同年代の男性はほとんど図書館に来ないかもしれません。その人たちにも、２つのサービスを享受できるような体験・体感をさせてあげたいです。
（委員）
同世代の方々が少ないのは私も感じます。体験・体感できるイベントを事務局に開催してもらい、それを区の年間行事予定に組み込んでしまうのはどうでしょうか。
（委員）
すぐに行いたいと思います。
（委員）
内覧会も区のほうから引き連れて行っていただきたいです。
（会長）
図書館作りの山場に差し掛かっています。すべて役所が考え、作るという時代は終わり、そのような図書館は持続しないと思います。ボランティアも含めて、みんなで作ったというような、体験・体感をしてもらい、私のまちの私の図書館というような気持ちを精神として、吹き込んでほしいです。図書館の引越しも皆で応援しようなど、参加をしていくことで親しみを持ち、かつ信頼でき、豊富な資料がある図書館ならば、また賑わいが生まれると思います。短期的な賑わいではなく、皆の図書館であるということが大切だと思います。地元の委員の方々はどのようにお考えですか。
（委員）
団塊の世代には、車の運転ができ、老人会にはまだ早く、何かやることはない

かという考えの人がいると思います。その人たちを引き込んで、盛り上がっていけたら良いと考えます。子ども向けの読み聞かせなどはあるが、そのような世代の人向けの講座などもあったら良いと思います。

（会長）

みんなで作る図書館作りの具体は何かありますか。

（委員）

私は榛原地区ですが、距離が離れているので、行ってみようと思わないと行かない人が多いと思います。図書館が良いところだと、皆が足を向けるような具体的な何かが必要だと思います。これからのことを考えると、０歳からの利用や、そのママにも図書館になじんでほしいです。もちろん小中学生もです。その人たちが本を好きになり、行こうと思えるような何かを考えていけたら良いと思います。

（会長）

子育て支援といいますか、次世代を図書館が支えるというのは素晴らしいですね。

（委員）

内覧会ですが、図書館のPRをするために各地区で計画を立てるのはとても良いと思います。距離のある人たちにはバスを出すなどできれば良いと思います。内覧会に行った後、家族内で図書館についての会話が生まれ、利用が増えるのではないかと思います。

（会長）

人数の少ない社会教育課のみなさんに、この多岐にわたるスケジュールをこなしてもらうのは大変だと思います。少しでも市民からの応援を得て、社会教育課の担当のみなさんの業務が特化され、ここに重点を置こうと決めていけるといいと思います。整理することは大変なことだと思いますが、スケジュール調整の中で考慮していただきたいです。

（事務局）

我々も一生懸命進めていきますが、協議会の皆様からご意見をいただくことと合わせて、新しい図書館を市民の皆様に期待していただけるようにPRをしていただきたいです。市民の皆様に見に来ていただけると、我々も力になりますので、よろしくお願いいたします。

（会長）

協議会委員の皆様発信力のある人達ですので、充分やっていただけると思います。

その他に全体を通したご意見はありますか。

（委員）

榛原図書館の整備の考え方をお聞きしたいです。
（事務局）
我々の方針として、まずは来年度から相良の図書館をスタートさせますが、相良の図書館、榛原の図書館を合わせて牧之原市の図書館として育てていこうと思っています。榛原の図書館は榛原地区の皆様の図書館というだけでなく、どのような役割を持たせていくか、１年間の時間をいただいて考えていきたいと思います。その間に、使える場所のチェックなどをしていきます。そのうえで、令和４年度に皆様に諮らせていただき、設計部分に落としていく作業をしていきたいと思っています。図書交流館も、相良地区だけでなく榛原地区の皆様にも利用していただきたく思っていますので、皆様の声を聞きながら考えていこうと思います。
（会長）
大筋の今後の計画を説明してくださいました。他にご意見はいかがでしょうか。ありがとうございました。本日は３つの議題についてたくさんの意見を伺いました。これらの意見を参考に教育員会の皆様には、基本計画の具現化等に向けて、ご努力していただきたいと思います。本日は積極的な発言、ありがとうございました。
（事務局）
本日はありがとうございました。